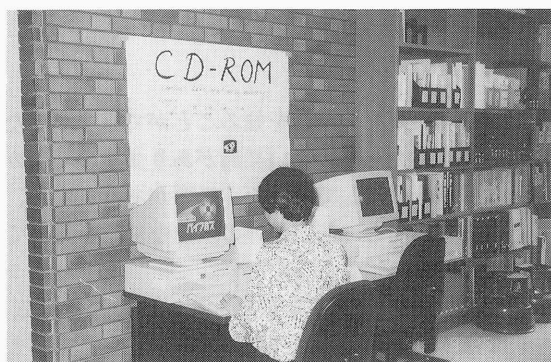




て、今までの文字情報だけでは考えられなかった多くの展開が期待できます。同種の情報も、新聞原紙、縮刷版、CD-ROM、あるいは医学分野の抄録誌、冊子体『Index Medicus』、オンライン・データベース、CD-ROMのように多様な媒体で入手できるようになってきました。図書館として、どの媒体をどのように組み合わせて提供していくのか、多様な媒体を各々の特徴を生かして、複合的に整備していくことが重要になってきています。(参考調査掛)

館内オンライン検索の利用状況

1990年9月現在、附属図書館では目録室と参考図書コーナーにオンライン検索用端末8台を備え付け和洋図書、和洋雑誌の所蔵検索用に提供しています。

このシステムは1988年9月に開始しました。その後、1990年1月からは附属図書館のホストコンピュータのリプレースにともない、現在使用しているラップトップ型の端末機に変更になりました。台数も一挙に2倍の8台に増加しました。ラップトップ型はコンパクトで最新機種でしたので学生利用者には好評で1月当初はいつも満席の状況でした。

1990年9月からはテスト的に平日一時間の運用時間延長を行っています。現状ではデータ入力の手続きでカード目録を併用しないと全目録データの検索ができません。しかし来年度からは学部、研究所からの入力開始が予定されていますし、古いデータの遡及入力も計画されています。オンライン検索の立場から近い将来、より完全な全学総合目録データベースの構築をめざしています。(参考調査掛)

平成2年度 調査研究員の委嘱

平成2年度附属図書館調査研究員の調査研究員に、下記4名の教官が委嘱されました。

大型計算機センター：星野 聡 教授

調査研究事項：目録カードによる遡及入力の研究(継続)

大型計算機センター：金澤 正憲 助教授

調査研究事項：学術情報ネットワークの研究(新規)

文学部：御牧 克己 助教授

調査研究事項：チベット大蔵經の研究(新規)

以上、委嘱期間は平成2年4月1日から平成3年3月31日まで。

大型計算機センター：久保 正敏 助教授

調査研究事項：図書館資料情報のオンラインサービスの研究(新規)

委嘱期間は平成2年7月1日から平成3年3月31日まで。